

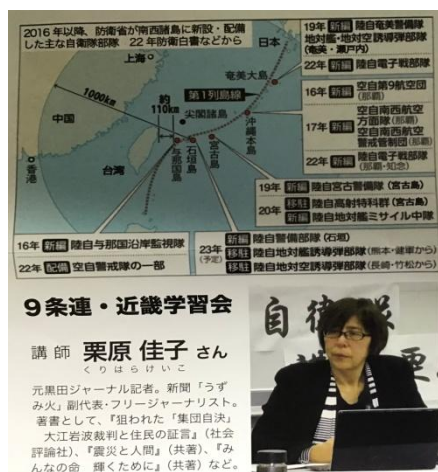
南西諸島への自衛隊基地強化と島の現状

9条連・近畿(憲法9条一世界へ未来へ近畿地方連絡会)学習会に参加した。初めてだ。案内チラシから。「2016年3月与那国島に陸自の沿岸監視部隊が配備され、その後自衛隊基地が宮古島、石垣島に配備されてきました。昨年末の安保関連3文書改定から「反撃能力の保有」をする岸田政権は、ミサイル防衛を強化するため南西諸島への軍備強化を行っています。私たちは、一切の軍備強化に反対します。憲法9条のもとで平和外交を求め、現在の状況について島民に取材されたお話をお聞きします。」

講師は新聞「うずみ火」副代表で、フリージャーナリストの栗原佳子さん。栗原さんから取材を受け、鋭い記事を読んできたが、話をお聴きするのは初めてである。2006年頃から沖縄、南西諸島の取材を続けられ、『狙われた「集団自決」大江岩波裁判と住民の証言』も出版されている。また読んでみたい。

鹿児島県の大隅諸島から沖縄県の与那国島へと連なる約1200^{km}の南西諸島(琉球弧)で陸上自衛隊の部隊配備が下記のように進むように「南西シフト」。

- 2010年 新防衛大綱と中期防で中国を念頭に南西諸島の防衛体制強化方針
- 2014年 与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島(鹿児島県)への部隊配備明記
- 2016年 与那国島に陸上自衛隊沿岸監視隊配備
- 2019年 宮古島に陸自警備隊、奄美大島に陸自警備隊とミサイル部隊配備
石垣島で着工。宮古島も弾薬庫建設工事が進む
- 2020年 馬毛島(鹿児島県)への自衛隊基地計画発表
- 2022年 安保3文書改定
- 2023年 馬毛島着工 石垣島に陸自警備隊、ミサイル部隊配備



講演では、島々の状況が現地取材をもとに多くの写真や証言により生々しく語られた。断片的には知っていることも多かったが、こうしてビジュアルに島々の現状を聴いて、あらためて「台湾有事」を想定した「南西シフト」の恐ろしさを痛感した。質疑では、9条の会メンバーから感想や意見が出された。時間がありそうなので、私も思い切って、こうした南西諸島への自衛隊基地強化について、とりわけ沖縄本島での反応などについて質問した。栗原さんは沖縄本島でも、やっと反対の動きが広がりつつある。南西諸島の島々は距離的にかかなり遠いので、どう連携していくか、日本全体の問題、「自分ごと」として考えていくことが大切であり、これからも取材を続けたいと語った。

(2023年7月3日)